



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 森下仁丹株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4524 URL <https://www.jintan.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森下 雄司  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 森田 真司 TEL 06-6761-1131  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	4,889	△5.4	232	△53.6	240	△52.6	185	△48.9
2020年3月期第2四半期	5,166	0.6	500	125.6	507	118.8	363	84.4

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 398百万円 (△4.4%) 2020年3月期第2四半期 416百万円 (△23.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	45.61	—
2020年3月期第2四半期	89.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,345	10,266	71.6
2020年3月期	14,387	10,013	69.6

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 10,266百万円 2020年3月期 10,013百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	37.50	37.50
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	37.50	37.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	△2.8	300	△33.9	300	△40.8	190	△41.0	46.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	4,150,000株	2020年3月期	4,150,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	75,093株	2020年3月期	78,909株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	4,072,561株	2020年3月期2Q	4,068,954株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響で急速に悪化した後、持ち直しつつあります。企業収益は製造業、非製造業ともに大きく悪化し、個人消費は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けた外出自粛の影響などから急速に落ち込んだ後、緊急事態宣言の解除に伴い持ち直しておりますが、外食・宿泊・娯楽などのサービス消費は低水準にとどまっております。消費者物価上昇率（生鮮食品を除く総合）は、エネルギー価格の低下や、「Go To トラベル」の開始に伴う宿泊料の大幅下落によりマイナスとなっております。

当社グループの属する業界も、異業種を含む大手企業の新規参入など更なる競合激化は続いており、当社グループを取り巻く環境は依然として厳しいものとなっております。さらに、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による事業への影響については、予断を許さない状況であるため、今後も注視してまいります。

このような経済状況のもとで、当社グループは、「伝統と技術と人材力を価値にする」をビジョンとし、引き続き積極的な営業活動を展開しております。当第2四半期連結累計期間においては、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」や、フレーバーカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ減収となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,889百万円（前年同四半期比5.4%減）、営業利益232百万円（前年同四半期比53.6%減）、経常利益240百万円（前年同四半期比52.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益185百万円（前年同四半期比48.9%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

## ① ヘルスケア事業

当セグメントにおきましては、当社独自の機能性素材であるローズヒップの販売が前年同四半期と比べ増収となりましたが、機能性表示食品「ヘルスエイド®シリーズ」の販売が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、3,553百万円と前年同四半期と比べ208百万円の減収となりました。

損益面では、効率的なプロモーション活動等に努めましたが、売上高が低調に推移するなか、セグメント利益は、147百万円と前年同四半期と比べ131百万円の減益となりました。

## ② カプセル受託事業

当セグメントにおきましては、フレーバーカプセルの受託の販売が前年同四半期と比べ減収となり、売上高は、1,330百万円と前年同四半期と比べ4百万円の減収となりました。

損益面では、効率的な研究開発投資に努めましたが、セグメント利益は、85百万円と前年同四半期と比べ44百万円の減益となりました。

## ③ その他

当セグメントにおきましては、売上高は、5百万円と前年同四半期と比べ64百万円の減収となりました。

損益面では、セグメント損失は、0百万円と前年同四半期と比べ91百万円の減益となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,985百万円となり、前連結会計年度末に比べ272百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が384百万円減少したことによるものであります。固定資産は8,360百万円となり、前連結会計年度末に比べ230百万円増加いたしました。これは主に株式の時価評価により投資有価証券が316百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、14,345百万円となり、前連結会計年度末に比べ42百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は2,094百万円となり、前連結会計年度末に比べ218百万円減少いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が260百万円減少したことによるものであります。固定負債は1,984百万円となり、前連結会計年度末に比べ76百万円減少いたしました。これは主に約定返済により長期借入金金が204百万円減少しましたが、繰延税金負債が126百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,078百万円となり、前連結会計年度末に比べ295百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は10,266百万円となり、前連結会計年度末に比べ253百万円増加いたしました。これは主にその他有価証券評価差額金が213百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は71.6%（前連結会計年度末は69.6%）となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、2,091百万円と前連結会計年度末と比べ384百万円（15.5%）の減少となりました。

当第2四半期連結累計期間に係る区分ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は99百万円（前年同四半期連結累計期間は383百万円の増加）となりました。その主な要因は、税金等調整前四半期純利益241百万円、減価償却費294百万円などによるものであります。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は127百万円（前年同四半期連結累計期間は316百万円の減少）となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得による支出102百万円、無形固定資産の取得による支出113百万円などによるものであります。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は356百万円（前年同四半期連結累計期間は319百万円の減少）となりました。その主な要因は、長期借入金の返済による支出204百万円、配当金の支払152百万円によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が不透明であり、現時点では2020年5月14日の「2020年3月期 決算短信」で公表した通期の連結業績予想を据え置くことといたしますが、今後の業績動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,475	2,091
受取手形及び売掛金	1,760	2,119
商品及び製品	853	658
仕掛品	590	540
原材料及び貯蔵品	470	426
未収入金	34	13
その他	84	147
貸倒引当金	△11	△11
流動資産合計	6,258	5,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,614	1,562
機械装置及び運搬具(純額)	743	811
土地	2,189	2,091
建設仮勘定	27	5
その他(純額)	328	300
有形固定資産合計	4,903	4,770
無形固定資産	317	360
投資その他の資産		
投資有価証券	2,844	3,161
長期貸付金	6	6
繰延税金資産	3	5
その他	54	56
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	2,908	3,228
固定資産合計	8,129	8,360
資産合計	14,387	14,345

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	942	682
1年内返済予定の長期借入金	408	408
未払費用	485	453
未払法人税等	77	47
賞与引当金	173	172
返品調整引当金	33	25
売上割戻引当金	20	20
設備関係支払手形	54	171
その他	117	113
流動負債合計	2,313	2,094
固定負債		
長期借入金	821	617
繰延税金負債	611	738
退職給付に係る負債	580	593
その他	47	35
固定負債合計	2,060	1,984
負債合計	4,374	4,078
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,537	3,537
資本剰余金	965	966
利益剰余金	4,648	4,681
自己株式	△133	△126
株主資本合計	9,018	9,058
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	995	1,208
退職給付に係る調整累計額	△0	△0
その他の包括利益累計額合計	995	1,207
純資産合計	10,013	10,266
負債純資産合計	14,387	14,345

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	5,166	4,889
売上原価	2,428	2,404
売上総利益	2,738	2,485
販売費及び一般管理費	2,238	2,252
営業利益	500	232
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	11	10
その他	2	2
営業外収益合計	15	13
営業外費用		
支払利息	4	4
その他	3	0
営業外費用合計	8	5
経常利益	507	240
特別利益		
その他	-	0
特別利益合計	-	0
税金等調整前四半期純利益	507	241
法人税、住民税及び事業税	122	25
法人税等調整額	21	29
法人税等合計	143	55
四半期純利益	363	185
親会社株主に帰属する四半期純利益	363	185



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	363	185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	213
退職給付に係る調整額	△0	△0
その他の包括利益合計	53	212
四半期包括利益	416	398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	416	398

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	507	241
減価償却費	309	294
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	0
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△9	△8
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△21	△0
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△118	—
売上割戻引当金の増減額 (△は減少)	20	△0
受取利息及び受取配当金	△12	△11
支払利息	4	4
売上債権の増減額 (△は増加)	△122	△358
たな卸資産の増減額 (△は増加)	68	288
仕入債務の増減額 (△は減少)	△65	△260
その他	△113	△65
小計	445	137
利息及び配当金の受取額	17	17
利息の支払額	△5	△4
法人税等の支払額	△74	△50
営業活動によるキャッシュ・フロー	383	99
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△167	△102
有形固定資産の売却による収入	—	98
無形固定資産の取得による支出	△144	△113
投資有価証券の取得による支出	△4	△8
その他	△0	△1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△316	△127
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△167	△204
配当金の支払額	△152	△152
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△319	△356
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△252	△384
現金及び現金同等物の期首残高	2,293	2,475
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,040	2,091

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,761	1,335	5,097	69	5,166	—	5,166
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,761	1,335	5,097	69	5,166	—	5,166
セグメント利益	279	129	408	91	500	—	500

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	ヘルスケア 事業	カプセル 受託事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,553	1,330	4,884	5	4,889	—	4,889
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,553	1,330	4,884	5	4,889	—	4,889
セグメント利益 又は損失(△)	147	85	232	△0	232	—	232

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産事業等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。